Ш

(日本文化学部国語国文学科、

橋 本

(教育福祉学部社会福祉学科)

性」についての報告である。二〇一一年八月九日に愛知県立大学で行われた教員研究発表会で配付した資料と文面が重 本稿は、二○一○年度愛知県立大学学長特別研究費の配分を受けた研究「小酒井不木研究−医学と文学との領域

複するところが多いことを予めお断りしておく。

(小酒井光次=小酒井不木とはどのような人か?) 一 八九○~一九二九(結核罹患。若くして亡くなる。八事霊園に墓。)

一愛知県海部郡蟹江村(現:蟹江町)で生まれる。

】愛知県立第一中学校(旭丘高校の前身)→三高→東大医学部(首席卒業)

●東北大医学部助教授を拝命後ただちに米英仏に留学し衛生学・血清学の最新の知見を習得するが、結核悪化のため妻の実家の神守村

(現:津島市) で療養生活。

1

結局東北大学には赴任せず。医学者よりも、文筆家、文学者の方へ。

〈名古屋市御器所に住む。現在の昭和区鶴舞四-五-十四、碑と説明標識あり。〉 |探偵小説の執筆(「恋愛曲線」「人工心臓」[一九二六]ほか、医学の専門的知識を駆使した独自の世界を創り出す。 日本の本格SF

の祖という評価も。)

探偵小説の紹介、翻訳

|探偵小説の若手発掘(江戸川乱歩、夢野久作

……モダニズム文学を支えた『新青年』の編集者とも交流(森下雨村、 横溝正史ら

▶他に、医学的エッセイなども。 特に、自身の結核との闘病体験を踏まえて書かれたエッセイ 『闘病術』 (春陽堂、一九二六)はベストセラー

かつロングセラーとして版を重ねた。

没後直ちに全集が編まれる(乱歩らの努力)。

『小酒井不木全集』全十七巻、改造社、一九二九~三〇

)今日、文庫本レベルで容易に入手できる小酒井不木の著作は多くない。

日下三蔵編『恋愛曲線 小酒井不木集』ちくま文庫、二〇〇二(品切れ

『日本探偵小説全集1 黒岩涙香・小酒井不木・甲賀三郎集』創元推理文庫、

一九八四

*ただし、アンソロジーの類を含めれば収録書は多数。

▶もし長生きできれば、医学者「兼」文学者として森林太郎=森鴎外や太田正雄=木下杢太郎などとも並ぶ大きな足跡を残せたのでは

1 研究目的

かたを明らかにし、領域横断的な知とはどのようなものかということにつき、一つの優れた例を通して考察・研究しよ 特に不木による書込みを把握することにより、医学者でもあり作家 当研究は、 愛知医科大学図書館(長久手市)が所蔵する小酒井不木旧蔵洋書を網羅的に通観し、蔵書の特徴を考え、 (探偵小説作家)でもあった小酒井不木の知のあり

うとするものである。

二○○九・三、八九~一二二頁)。さらに網羅的な調査を行うことで、特に医学的トリックを駆使した探偵小説(推理小説) 先に報告した(「夢野久作「押絵の奇蹟」論―迷信・科学・文学」『愛知県立大学文学部論集(国文学科編)』第五七号、 洋書が愛知医科大学図書館に収められている。医学・犯罪学・文学とその分野は多岐にわたるが、小説作品や随筆のテー を得意とした不木の領域横断的な知のありかたを解明する。 マやアイデアのヒントをそれらの書物から得たことを、山口がいくつかの書込みの確認により明らかにし、その一端を 蟹江町・名古屋市で育ち暮らした不木は蔵書家としても知られるが、 和書・和漢書は名古屋市蓬左文庫に収められ、

2 研究内容(経過、成果及び到達点等)

〈経過〉

度に終わらない書き込みについて複写した。 蔵されている小酒井不木旧蔵洋書(約四四○冊)について、全冊を通覧し、書き込み箇所を拾い出し、 二〇一〇年六月・七月に、計四回、愛知医科大学医学情報センター(図書館)に足を運び、小酒井不木文庫として所 単なる線引き程

残りの三回は、山口、共同研究者の橋本明(本学教員)、研究協力者の加藤彩(本学文学部国文学科学生)の三名で訪れ、 分担しながら調査に携わった。 最初の一 回は山口が、図書館の事務長(坪内政義氏)へ挨拶と今後の調査の手順等についての打ち合せのために訪

的に通覧したことで、蔵書の特徴(文学書においてはその広範さ、自然科学関係では科学史・科学哲学というメタ科学 書き込みのデータベース作成のために複写は当然必要な作業だが、単に複写必要箇所の発見のためだけでなく、

握することができた

4 リストのフラットな記述を見るだけでは分からない、図書ごとの読み込みの度合いの違いという質的な特徴の存在も把 な関心のありよう、また探偵小説と関連する犯罪学関連書目の多さ)を俯瞰的に把握することができ、また単に蔵書

藤とで行なった。二○一○年一○月から翌年一月にかけ、入力の基本的作業を加藤が行ない、 これら愛知医科大学で行なった調査結果を持ち寄り、三名で検討吟味した上でデータベース化する作業を、 チェックや調整作業を山 山口と加

、成果・到達点

口が行なった。

果であり到達点である。(次頁以下にその一部分を掲げる。) 上記のような調査・作業を通じて、小酒井不木旧蔵洋書の書き込みに関するデータベースを作成したことが第一の成

現段階では「稿本」水準にとどまるが、今後、所蔵機関である愛知医科大学図書館とも協議の上、公開の方法につい

書き込みの特徴について俯瞰的に通観できたことも重要な成果である。

読み進めながら重要だと感じた箇所に、下線を引き、余白に丸印等の印を付けるということや、

キーワードを余白に

抜き書きしたり外国語文献であるため訳語を書き込むということは、他の多くの人間と同様だが、本文に触発されて抱 いた感想の書き込みなどには不木らしさを読み取ることができた。

きかということを自らの問題として絶えず考えていたということである。 不木らしさとは、具体的には、自然科学のみならず文学・人文科学的な知も視野に収めつつ、科学者とはどうあるべ

また、英語の文献への書き込みの中に本文中の言葉をドイツ語に置き換えたものが散見し、これなどは、不木の外国

《小酒井不木文庫(洋書)書込み状況調査表(抄)》

| N1 56 | N 12 | ΝĢ | N 05 | N 65 | N6 | N6 | Z A | Z 4 | Z 4. | N25 | N24 | 4. 电 |
|---|---|---------------------------|---|--|---|---------------------------|---|---|--|---|--|---|
| Merz, John Theodore | 3 Khayyam, Omai | N64 Duse, S. A | N63 Duse, S. A | N62 Duse, S. A | N61 Duse, S. A | N60 Duse, S. A | N45 Disraeli, Isaac | N44 Disraeli, Isaac | N43 Disraeli, Isaac | Browne, Sir Thomas | Browne, Sir Thomas | 著者 |
| Religion and science: a philosophical essay | N123 Khayyam, Omed Quatrains of Ornar Khayyam, Tr. Bren- lano's Edward Fitzgeald tano's | Pik könig: Detektiv-Roman | Pik könig: Detektiv-Roman (スペードのキング) | Der Degenstock: Detektiv Roman Singer (生 ty 4 宝冠) | Das Cobra-Geheimnis: Detektiv- roman | Leo Carrings Doppelgänger | Curiosities of literature Vol. 3 | Curiosities of literature Vol. 2 | Curiosities of literature Vol. 1 | The works of Sir Thomas Browne.vol.3 | The works of Sir Thomas Browne.vol.2 | 蜡名 |
| Blask- wood | Bren- tano's | Singer | Singer | Singer | Singer | Singer | Wame | Wame | Wame | Grant | Grant | 出版者 刊年 |
| 1915 | 1909 | n. d. | Ω | р. ф. | 1923 | n. d. | n. q. | n. d. | n. d.* | 1912 | 1912 | 当年 |
| 会心分 | # C | 強っなっ | 強ったった。 | 第 79, | 強って | 強なし | 220 | 311, | 0.4 | 幹 | \$ C | 言(主) (語記は 語) 大 |
| 25.45 (又 ^か)、46 (又 ^か)、81 (15 動から)、90買上部余日 (Plexum充実 — Vacumに対した音楽)、90買干部 9.11.13、 条日 (共産で払は先づ)運動性」とい4.68.73、 ふことに繋で参くて見やうと思ふ)、91 (第 (十七) セより)、 | | | | | | | 201,203,265,273《大本教》, 275,276,279,285,287,339, | | CONTENTS OF VOLUME1,22,33, 47,87,162,163,164,165, | | | 1容のある書込みがある頁のノンブル |
| 55.45 (又 7).46 (又 7).81 (15 24.5.9.11.13.14.15.1 36.9.) 3.9月上部余日(中sumが表生 19.21.23.24.26.1 19.21.23.24.26.2 19.32.24.39.40.42.4 5.20.21.21.32.25.25.25.25.25.25.25.25.25.25.25.25.25 | \$P | な し | 73,76,83,156,161,170,185,190, 195,202,204,205,209,212, 220- 223,226-229,236,241,249,254, 257-259,261,268,270-275, | 5-50,12-16-17,192.12-42-83,03.23.3 35.63-64-42.44.46.47,50-52.55. 59-61,65-72,74-78,00,18-43.85- 57,09,19,395-98,100-103. 105-108,112.113,116-118.1123. 105-108,112.113,116-118.1124. 116,147,148-10,112.113,140-144. 116,147,148-10,112.114,176. 162,164,166-170.112.114,176. 162,164,166-170.112.114,176. 162,164,166-170.112.114,176. 162,164,166-170.112.114,176. 162,164,166-170.112.114,176. 162,164,166-170.114,176. 162,164,166-170.114,176. 162,164,166-170.114,176. 162,164,164,164. 163,164,164. 164,164,164. 164,164,164. 164,164,164. 164,164,164. 164,164,164. 164,164,164. 16 | 97,98,101,104,113, | なし | Centents (OEI) ,12,172,265,266, 268,272 (OEI) , 273, 279, 282 (OEI) ,284,287,288,290, | iv,v (○印) ,1,218,219 (○印) ,364, 365,372,373 (○印) | CONTENTS OF VOLUME1,35,86 (Off), 161, 162, 163,164,165, 285,286,287, | 最初のCONTENTSの頁Vii、528 (続 く2つの頁も含め [On Dreams] なる 347, 論) ,553,554, | PSEUDODOXIA EPIDEMICA(伝染性謬見、1646年)の頁、236 | 傍線程度の書込みのある頁のノンブル |
| 7- 1,66,68,69,72 | 87 | な し | 幹 | <i>₩</i> | な し | なし | 296, | 311. | CONTENTS OF VOLUME 1.22,33.1 26,127,150,162,163,283,285,287,4131, 239, 240右下に折れ日19,420, | 347, | 最初のCONTENTSの頁(Of Griffins なる節について《麒麟》、Of the Phoenix なる節について《鳳凰》と訳 語), 147,205,236, | 言語 (電料の) (電子) (電子) |
| 25しおり用の紐を挟みこみ、112下部 折れ | 見返し《To Dr Mitsuji Kosakai From Mr A. Coca and A.F. Coca as a small memento of a pleasant, if short, association in New York City. June 4th, 1919》 | | 表表紙見返し (数字) | 表表紙見返し(写真、メモ、印)、騒 目の質下に印、裏表紙見返し(図形、 数字、メモ) | 表表紙に手書きで《mode=atlier/美容アトリエ》、234(章番号の誤記を訂正) | 表表紙見返しに数字 | 129,130右下に折れ目 | 191右上に破れ、443, 444折れ目 | \$131,239,240右下に折れ目 | 337,338折れ目 | { 125,126折れ目 | 注記事項 |
| | | | | | | | | | *このシリーズの初版 ~ 1824 | | | 備考 |

| 함 | - ω | Pg | 2 | C48 | C47 | C46 | C45 | C20 | C10 | S39 | N242 |
|--|--|-----------------------------------|---|---|--|---|--|---|--|---|--|
| 記号番号のアルファベットは、N (小説・歴史・詩 その他)、S | Enrich, Paul I3 and his collabo- rators* | | Wulfen, Erich Bloch, Iwan | | C47 Wulffen, Erich | C46 Wulffen, Erich | C45 Wulffen, Erich | C20 Helbing, Eranz | Ellis, Havelock | Hamilton, Wil- liam | N242 Whewell, Wil- |
| | Brildh, Paul 13 ard this collabo-Studies in immunity, 2, ed rators* | Studies in the psychology of sex. | The sexual life of our time: in its Heine- relations to modern civilization mann | Das Weib als Sexualver- brecherin: ein Handbuch für Langen Juristen, Verwaltungsbeamte und scheidt Ärzte | Der Sexualverbrecher: ein Handbuch für Juristen, Verwal- tungsbeamte und Ärzte | Psychologie des Verbrechers: ein Hand Langenscheidt buch für Juristen, Ärzte, pädagogen und gebildete aller Stände. 2. Aufl. Bd. 2. | Psychologie des Verbrechers ein Hand Langerscheidt buch für Juristen, Årzte, pädagogen und gebildete aller Stände. 2. Aufl. Bd. 1. (犯罪者の心理学) | Die Tortur: Geschichte der Folter im Kriminalverfahren aller Völker und Zieten(あらゆる民族・時代 scheidt における犯罪的拷問の歴史) | C10 Ellis, Havelock the Criminal, 5th Ed. (英訳) | The history of medicine, surgery, and anatomy. Vol. 1 | On the philosophy of discovery |
| | Wiley | Davis | Heine- mann | Langen- scheidt | Langen- scheidt | Langen- scheidt | Langen- scheidt | Langen- scheidt | Scott | Bentley | Parker |
| (医学3 | 1910 | 1922 | | 1923 | 1922 | 1913 | 1913 | n. d. | 1914 | 1831 | 1860 |
| 7tt 5tr 9tr | | | | 举 | 選 | 業 | 資 | 強 | | | |
| (医学史および自然科学)、C(犯罪学および関連領域)、P(心理学および性科学)、I(免疫学)、E(辞典類)、雑誌、という分類による。 | 563 ((恐術) といる解例/限) 563 ((恐術) といる解例/限) 79ハX) 216 (コノ脱菌者) (ママ) アタハX) (保護性大師者) モル状トラ・分三十分 1号 (日本) エルボトラル 1号 (日本) エルズ 解離 7月 (日本) エルズ 解離 7月 (日本) 1号 (日本) 日本) 1号 (日本) 1号 (日本 | | 437 《遺精》, 449 《Treatment of Impotence》, | 84〈耳袋 巻3、領城奸計〉, 192· 193〈Feuerbachの□究〉 | なし | 274 (坪内「マクベス」36page). | 137〈催眠状態の三階段〉, | 30《岡本綸堂氏「適島の猿」、鬼娘〉、 | (Preface to the third edition); 1-3, 35 (Degeneration) , 52 (Degeneration) 17, 19, 21, 23, 144, 147,182,186 224,232,238,240, 352(附語か?) | 370(下線、《英国医学の振はなかつた 理由》),408《Hecker 参照》云々, | 7,17 (プラトーの映談、).19 (\$vlogism 三段論談、28 (プリス (\$vlogism 三段論談、28 (プリス トールの辞録へ)、32 (34 氏) トールの辞録へ)、32 34 氏 7. (第745)(01,129,139,135,140)(141) イオの3,011,29,139,157,169 (日本 3,144,151,155,157,186,169,169 の現代の弁学に対する・大楽様をいは(原第):71,758,221,39 (数年)、71,222 (kart)、 (第7,124,129,129,129,129,129,129,129,129,129,129 |
| | 618.620.621, | 564,566,569, | 77,430,434,436,437,438,439,440,4 46,448,450,451,680, | 84, 85,115,121,172-174,182,183, 192-193, | 幹 | 55,291,283,296-299,309-315,474- 479, | 129,131,133,135, | 1.2.8-11.13-16.19-23.27-30.32- 37.140-142.56-59, 68-70.72.74, zweite Teil 11.19, | 1(Preface to the third edition); 1-3, 17, 19, 21, 23, 144, 147,182,186, 224,232,238-240, 352(訳語か?) | preface,8,48,335,347,348,369, | 4.5.7.8.12.14.17.18.20.28.36.50, 59.68.70.74.79.97.101.107.110.1 56.129.130.134.135.140.141.14 3.144.151.155.157.158.160.169 (粉筆) .171.173.175.182.183 (粉 筆) .184.203.205.213.219.222. |
| | € C | か | 27,119,437, | 192,193 | なし | | | 62 (本文の《Harikiri》を《Harakiri》と: (Yakonin》を《Yakunin》と訂正の書 き込み) | | 310,311,316,317,323,324,386,407 | 7,11,13,28,58,125,140,171, |
| | | | 見返しに署名〈m. kosakai January 1924〉 | | | | | 82(米文の (Hankin) を (Hankin) と、見返しに [MARUZEN ~ TOKYO] シー (Yakonin) を (Yakunin) と訂正の書 ル、見返しの次の遊び紙に署名らしき き込み) | | | 扉に署名(?)、386,389頁上陽折れ |
| | collected and translated by Charles Bolduan | | | のちに邦駅あり: 女性の性的犯罪/エリッヒ・ヴルフェン書: 野添教義罪、東京: 駿南社, 1932 | | | Wulflen:犯罪学者、幻 惑の研究者:中井久 未編訳『エランベル ジェ著作集3』(みす ず書房、1999) で言 及 (289, 319頁、人 名索引iii) | v 1 | | | |

語の堪能さ、特にドイツ語の堪能さを物語るものである。

他にも、 調査を通じて判明した重要な点としては以下のようなことが指摘できる。

とが分かり、全冊を不木の旧蔵書と見ることに問題があることが分かったのも重要な点である。(気付けた限りでデー 望氏の蔵書だと思われる)、また、不木生前刊行の書籍でも不木の筆蹟とは違う書き込みのあるものが交じっているこ ・〈小酒井不木文庫〉として一括されている中に、不木没後刊行の書籍が交じっていること(多くは不木長男・小酒井

取れる書き込みの多寡とも連動させながら、読み込みの度合いを吟味することが必要であることが分かったことも重要 ・一口に不木旧蔵書と言っても、読み込み方の度合いに違いがあり、最初の方を少し読んだけだと思われる書籍や、ア ンカット本でページをカットした形跡のないもの(つまり読んだ形跡のないもの)などもあり、データベースから読み

込みの点においてもそれらの書目には書き込みが目立つ。 不木旧蔵の医学関係書目の特徴としては、医学史に関わる書目や科学哲学に関わる書目の存在が挙げられるが、 読み

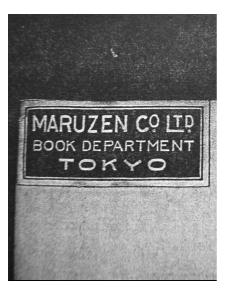
である。

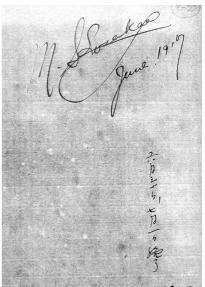
タベースに反映。)

ここで書き込み等の例を写真で示しておこう。次頁以下をご参照いただきたい。

なお、関連作業として、名古屋市蓬左文庫所蔵の不木旧蔵書・不木草稿類についてもある程度調査を行なった。

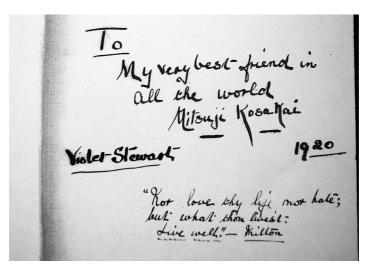
装本)の存在については全く注目されてこなかったことを踏まえ、洋書への書き込みとの違いを概略的にでも見当を付 文書古絵図目録』[名古屋市教育委員会、 不木旧蔵書のうち、古典籍(和漢書)が蓬左文庫に寄贈されたことはこれまで知られてきた(『名古屋市蓬左文庫古 一九七六]もほぼ和漢書のみ掲載)が、明治以降、不木生前までの和書





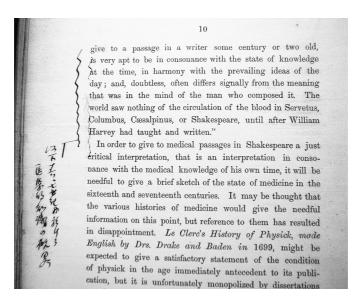
②書店のシール 他に、ニューヨークやロンドンの書肆のも の散見。

①署名等 P33: Trall,R.T.,Sexual physiology and hygiene,Simpkin,1914→読んだ時期の特定

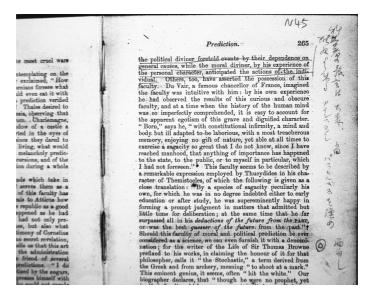


③献呈辞

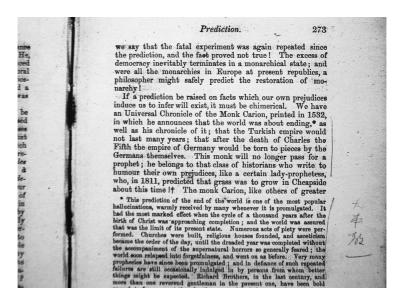
N158: Milton, John, The complete poetical works of John Milton, Milford, 1913
→海外での交流の実態(1919年6月に合衆国から英国へ、9月にロンドンで喀血、ブライトン海岸へ転地、1920年5月にパリヘ、喀血、カシニョンへ転地、9月にマルセイユから帰国船乗船、11月に神戸着)。『失楽園』第11巻からの引用で不木を励ます。



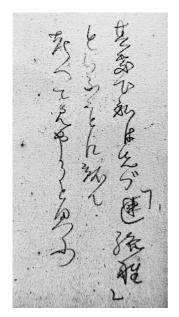
4N26: Bucknill John Charles. The medical knowledge of Shakespeare. Longman. 1860



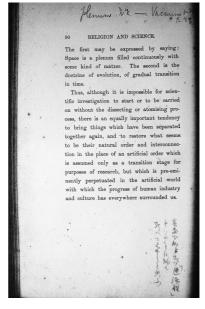
(5)N45: Disraeli,Isaac,Curiosities of literature Vol.3,Warne.n.d.



⑥同、《大本教》



⑧同、《其處で私は先づ「連絡性」といふことに就て考へて見やうと思ふ》



⑦N156: Merz,John Theodore,Religion and science: a philosophical essay, Blaskwood, 1915

サンシスペーコンとうもより物であった

4 PHILOSOPHY OF DISCOVERY.

if they be furrowed in the surface, as the Irish crystals are. Let him consider too, that he sees the same colours in the drops which are dashed from oars in the sunshine;—and in the spray thrown by a millimeter of the surface of the order order of the order of the

With regard to the form and other circumstances of the bow he is still more precise. He bids us measure the height of the bow and of the sun, to show that the center of the bow is exactly opposite to the sun. He explains the circular form of the bow,—its being independent of the form of the cloud, its moving when we move, its flying when we follow,—by its consisting of the reflections from a vast number of minute drops. He does not, indeed, trace the course of the rays through the drop, or account for the precise magnitude which the bow assumes; but he approaches to the verge of this part of the explanation; and must be considered as having given a most happy example of experimental inquiry into nature, at a time when such examples were exceedingly scanty. In this respect,

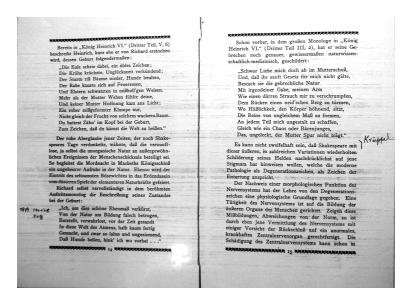
(9)N242: Whewell, William, On the philosophy of discovery, Parker, 1860

日本のなべの私島者にかする

160 PHILOSOPHY OF DISCOVERY.

subject, not only for first discovering, but for receiving knowledge: "Without experience, not other men's but our own, no man is a proper disciple of any part of natural knowledge; without experimental skill in anatomy, he will no better apprehend what I shall deliver concerning generation, than a man born blind can judge of the nature and difference of colours, or one born deaf, of sounds." "If we do otherwise, we may get a humid and floating opinion, but never a solid and infallible knowledge: as is happenable to those who see foreign countries only in maps, and the bowels of men falsely described in anatomical tables. And hence it comes about, that in this rank age, we have many sophisters and bookwrights, but few wise men and philosophers." He had before declared "how unsafe and degenerate a thing it is, to be tutored by other men's commentaries, without making trial of the things themselves; especially since Nature's book is so open and legible." We are here reminded of Galileo's condemnation of the "paper philosophers." The train of thought thus expressed by the practical discoverers, spread rapidly with the spread of the new

⑩同、《日本の現代の科學者に対する一大痛棒といはねばならぬ》



⑪N248: Wulffen,Erich,Shakespeares grosse Verbrecher: Richard Ⅲ-Macbeth -Othello, Langenscheidt,1911 →シェイクスピアをドイツ語でも

Maternal Love.—The most profound and most natural irradiation of the sexual appetite in woman is maternal love. A mother who does not love her children is an unnatural being, and a man who does not understand the desires of maternity in his wife, and does not respect them, is not worthy of her love. Sometimes egoism renders a man jealous of the love which his wife hears to his children. At other times, the father may show more love for the children than their mother; such exceptions only prove the rule.

The most beautiful and most natural of the irradiations of love is the joy of parents at the birth of their children, a joy which is one of the strongest bonds of conjugal affection, and which helps are couple in triumphing over the conflicting elements in their characters, and in raising the moral level of their reciprocal sentiments, for it realizes the natural object of sexual union.

A true woman rejoices at the progress of her pregnancy. The last pains of childbirth have hardly ceased before she laughs with joy, and pride at bearing the first aries of the peuling

⑫P12: Forel,August,The sexual question: a scientific, psychological,hygienic and sociological study,Medial Art Agency,n.d., p.135《小説の種》

けるために特に医学・文学と関係の深い書目を中心に閲覧し、書き込み箇所を複写した。

で一〇四〇冊程度に及ぶ)を網羅的に通観するという態度は取らなかった。 ただし、これは今回の研究の中での位置づけとしてはあくまでも関連調査にとどまるので、全冊(近代の洋装本だけ

ルへの入力には加藤も参加した。 これは基本的に山口が行なった(二○一○年九月九日、二○一一年二月一七日)が、データの整理、エクセルファイ

3 研究発表の予定など

の論考「小酒井不木研究・ 口と橋本が執筆する。 蔵書の特徴、 読み込みの度合いの多寡なども視野に含め、書き込み調査から判明した不木の読書傾向の特徴について ―医学と文学との領域横断性―愛知医科大学小酒井不木文庫蔵書調査を通じて」(仮題)を山

えたい。(なお、現在、愛知医科大学の蔵書検索システムには、小酒井不木文庫扱い書籍は登録されていない。) 作成した書き込みのデータベースについては、愛知医科大学とも協議の上、紙媒体あるいは電子媒体による公開を考

一九一〇年代~二〇年代日本における医学・心理学・人文科学の知的交流・交錯を研究しているメタモルフォーゼ研究 (代表:名古屋大学教員坪井秀人氏、山口と橋本が参加)との共催も検討したい。

・できれば研究報告会を開催したい。場所は、愛知県立大学長久手キャンパスまたはサテライト教室を考えている。

4 今後の計画又は展望

業として行なった名古屋市蓬左文庫所蔵の旧蔵書についても書き込みの調査を行ない、 不木という一箇の人間の知的世界・思考の中では、 洋書/和書の根本的な区別は存在しないはずであるから、 蔵書の特徴、そこから窺われる 関連作

蓬左文庫所蔵の旧蔵書は、 古典籍 (和漢書) と近代以降の書籍とに大別されるが、 まずは近代以降の書籍につい

不木の知的世界の特徴について研究したい。

別のプロジェクトとして企画したいと考えている。 古典籍については、共同研究者あるいは研究協力者として日本古典文学研究者や漢文学研究者の参加も求めて、 後日

依頼しつつ、文字文化財研究所のプロジェクトの一つとして進めてゆくことができると考えている。 資するものと考えられるので、探偵小説研究を専門とする小松氏(金城学院大学教員)などへも研究協力者として参加 蓬左文庫でも未整理資料扱いであるところから、今後協力しつつ作業を進める余地があるという点では とは大変有意義でありやりがいのあることであるが、当地の知的偉人を取り上げるという意味で〈地域貢献〉 あることが判明した。これは研究対象としてはまったく手つかずのままであるので、今後研究対象として取り上げるこ 蓬左文庫についてはまた、不木の草稿類の所蔵も確認されたので、草稿から完成作へと至る生成論的な研究が可 〈地域連携〉に また 能で

(参考文献)

『小酒井不木文庫』愛知医科大学付属図書館、一九八○ (蔵書目

牧野英二『増補・和辻哲郎の書き込みを見よ! -和辻倫理学の今日的意義』 法政大学出版局、二〇一〇

てお礼を申し上げます。

*図書資料等の閲覧に協力してくださった愛知医科大学図書館の事務長坪内政義氏、名古屋市蓬左文庫の文庫長桐原千文氏にこの場を借り